

日・アフリカ・ビジネスフォーラム2024

アフリカ投資リスクを探る ～真の可能性と課題～

経済同友会とアフリカ開発銀行 (AfDB) は6月18日、3人の副総裁の来日を機会に、「日・アフリカ・ビジネスフォーラム2024」を共催した(財務省後援)。本会とAfDB、商社、スタートアップ、政府系金融機関、アフリカ各国大使など、アフリカビジネスに携わる関係者が、アフリカにおけるビジネス機会や日本企業のアフリカビジネス拡大に向けて意見を交わした。



Japan-Africa Business Forum 2024
Exploring Investment Risks in Africa: Unveiling
the True Potential and Challenges

日・アフリカビジネスフォーラム2024
アフリカ投資リスクを探る～真の可能性と課題～

日本とアフリカのより緊密な協力関係を促進 25年、TICAD9が横浜で開催



井出 達也

経済同友会
中東・アフリカ委員会 委員長



三村 淳

財務省 国際局長

2022年11月にコートジボワールにて開催されたアフリカ投資フォーラム(AIF)において、AfDBと経済同友会は、日本とアフリカのより緊密な協力関係を促進し、ビジネス関係を強化するための協力趣意書に署名した。この趣意書に基づき、23年4月にはアデシナ AfDB 総裁の来日機会を捉え、AfDBおよび国連開発計画(UNDP)との共催で、「日・アフリカ投資エコシステム共創フォーラム」を開催した(本誌23年6月号参照)。

今回のフォーラムでは、既にアフリカでビジネスを展開している関係者のみならず、潜在的なアフリカビジネス関係者に向けても、アフリカにおけるビジネスの現状と課題、潜在能力、将来性などについて理解を促進することを目指した。

日本が主導するアフリカ開発会議(TICAD)は昨年で30周年を迎え、25年にTICAD9が横浜で開催される予定である。それに向け、AfDBと経済同友会は日本・アフリカビジネス関係者の間で培ってきたアフリカへの投資エコシステム共創のさらなる推進と投資促進、日本企業のアフリカ進出機運醸成のためビジネスフォーラムを開催し、アフリカと日本の投資・ビジネス機会についての議論を深め、可能性の深化を図った。

開会にあたり、井出達也経済同友会中東・アフリカ委員

会委員長が挨拶に立ち、TICADに対する提言の発出や経済同友会会員有志によるアフリカ向けインパクトファンド「株式会社 and Capital」の設立などアフリカに関する経済同友会の取り組みや、AfDBとのこれまでの交流について説明した。

また、来賓挨拶では三村淳財務省国際局長から、アフリカを含む世界の諸課題における日本の取り組みやAfDBとの協調についての説明があった。

第一部 基調講演

アフリカ経済の概況、投資リスクパーセプション、 債務持続可能性

コメント



ケビン・チカ・ウラマ

AfDB チーフエコノミスト兼副総裁



野元 隆章

AfDB 日本等代表理事

基調講演では、ケビン・チカ・ウラマ副総裁よりアフリカの経済の実績と見通し、経済構造改革、グローバルな資金調達構造の必要性、GXなどについて詳細なプレゼンテーションが行われた。

AfDBはリスク管理を強力に進めており、「アフリカには民間セクターにとって大きなチャンスがある。アフリカ大陸は世界的にも最も高いリターンを提供している」と述べ、「アフリカへの賢明な投資は良いビジネスだ。良いことをすることで成功する」と強調した。

野元隆章日本等代表理事は「2025年、世界人口の約4分の1はアフリカ人になると予想されている。日本企業もすでに動いている」として、AfDBとして日本企業のアフリカ進出に協力できる点が多くあると述べた。

第二部 パネルディスカッション

アフリカにおけるスタートアップの現状と今後の展望

パネリスト



坂野 哲平

アルム 取締役社長



渋澤 健

経済同友会
中東・アフリカ委員会 委員長



木村 和昌

経済同友会
中東・アフリカ委員会 副委員長



ソロモン・クエノー

AfDB 副総裁
(民間セクター・インフラ・工業化担当)

アフリカにおけるスタートアップ・起業家エコシステムを向上すべく、AfDBや投資家の役割を紹介するとともに、アフリカのスタートアップが持つ可能性や日本企業もたらし得るインパクト、人材育成の重要性といった点が話し合われた。

民間セクター・インフラ・工業化担当のソロモン・クエノー副総裁は、生産性向上によって貧困層にまでサービスを届ける第4次産業革命のポテンシャルを強調した。「テクノロジーによって効率的に収益性を高め、社会の全ての層に価値を提供することだ」と語った。

またクエノー副総裁はハイテク大手との提携を含め、アフリカの人的資本とスタートアップエコシステムを開発するためのAfDBの取り組みを説明した。「インテルと共同で、アフリカ人900万人に人工知能の訓練を行うプログラムや、最大5,000万人の若者のスキルアップを図る、雇用のためのコーディングプログラムを実施している」。若者起業家投資銀行(YEIBs)がテック活用企業(tech-enabled companies)をさらに支援し、経済同友会会員有志が設立したアフリカ向けインパクトファンド「and Capital」との連携を強化すると述べた。

司会
(第二部、第三部共通)



下田 敏

日本経済新聞 編集局
総合解説センター 編集委員



第三部 パネルディスカッション

グリーンインフラ開発の現状と今後の展望

パネリスト



能勢 裕司

IHI 事業開発統括本部
官民連携推進部 次長



天野 辰之

国際協力銀行
資源ファイナンス部門長



ツピディ・モレモン

アフリカ50
最高執行責任者(COO)



ケビン・カリウキ

AfDB 副総裁
(電力・エネルギー・気候・グリーン成長担当)

グリーンインフラ開発をテーマに、パネリスト所属企業・団体によるアフリカにおけるグリーンインフラ分野での取り組みを紹介した。その後、適正なリスク評価の必要性やアフリカの再生可能エネルギーの潜在性、日本企業による投資への期待などについて意見交換が行われた。

電力・エネルギー・気候・グリーン成長担当のケビン・カリウキ副総裁は、地熱技術における日本の競争優位性を挙げ、「ケニアのタービンの90%は日本製だ」と指摘した。また、電力と水素を輸出するための相互接続を計画しており、アフリカを欧州のエネルギー問題のソリューションとして位置付けていると語った。

さらに、「AfDBにはプロジェクトのリスクを軽減するための仕組みがある」と述べ、コストが高騰する中、エジプトとチュニジアの太陽光発電プロジェクトに対するアフリカ持続可能エネルギー基金(SEFA)の支援を例に挙げた。

アナウンス



ヤシン・ファル

AfDB アフリカ投資
フォーラム(AIF)
特別代表



名倉 和子

経済産業省 通商政策局
中東アフリカ課 アフリカ室長



高橋 美佐子

外務省 中東アフリカ局
参事官

ヤシン・ファル AIF 特別代表は「アフリカ投資フォーラム」について言及し、このプラットフォームがアフリカの農業、エネルギー、運輸、ヘルスケア、ICTなどの分野への

投資の主要な仲介役としての役割を担っていることを紹介した。昨年11月にモロッコのマラケシュで開催された同フォーラムに、経済同友会を含む日本の投資家やビジネスリーダーが参加したことに触れた。

名倉和子経産省アフリカ室長は、第3回日本アフリカ官民経済フォーラムを開催する計画を発表した。このイベントは日本企業がアフリカを訪れ、ビジネス開発やネットワーキングを行う機会を提供する。また、来年予定されている「アフリカ市場活力取り込み事業実施可能性調査事業(AfDX)」などのアフリカにおける日本のビジネスベンチャーを支援する同省の取り組みについて語った。

高橋美佐子外務省参事官はTICADを、成長のための革新的なソリューションを共同で創出し、日本とアフリカの共通の未来について議論するプラットフォームとして強調した。

閉会/レセプション

河西修所長は閉会挨拶の中で、日本とアフリカによるビジネス機会の創出の重要性や、日本企業のアフリカ進出に向けてAfDBが果たせる役割と来年のTICAD9への期待などについて述べた。

フォーラム閉会後のレセプションでは岩井睦雄経済同友会筆頭副代表幹事、牧原秀樹衆議院議員、エスティファノ

ス駐日エリトリア大使が挨拶を行い、今後の日アフリカ関係の発展やビジネス機会の拡大への期待に言及した。レセプションでは、AfDB、経済同友会などフォーラム参加者や日本・アフリカ連合友好議員連盟(日AU議連)会長の逢沢一郎衆議院議員をはじめとした日AU議連、アフリカ各国駐日大使らと活発な交流が行われた。

■閉会挨拶



河西 修

AfDB アジア代表事務所 所長

■主催挨拶



岩井 睦雄

経済同友会 筆頭副代表幹事

■来賓挨拶



牧原 秀樹

衆議院議員
日AU議連 事務局長

■乾杯挨拶



エスティファノス・
ハイレ・アフエウォルキ

駐日エリトリア大使

日・アフリカ・ビジネスフォーラム2024 プログラム

(役職は開催時)

■開会

開会挨拶 井出 達也 経済同友会 中東・アフリカ委員会 委員長
フジタ 取締役専務執行役員

来賓挨拶 三村 淳 財務省 国際局長

■第一部 基調講演

アフリカ経済の概況、投資リスクパーセプション、債務持続可能性

ケビン・チカ・ウラマ AfDB チーフエコノミスト兼副総裁

◆コメント 野元 隆章 AfDB 日本等代表理事

■第二部 パネルディスカッション

アフリカにおけるスタートアップの現状と今後の展望

◆パネリスト

坂野 哲平 アルム 取締役社長

渋澤 健 経済同友会 中東・アフリカ委員会 委員長
シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役

木村 和昌 経済同友会 中東・アフリカ委員会 副委員長
豊田通商 エグゼクティブアドバイザー

ソロモン・クエノー AfDB 副総裁(民間セクター・インフラ・工業化担当)

◆司会(第二、三部共通)

下田 敏 日本経済新聞 編集局 総合解説センター 編集委員

■第三部 パネルディスカッション

グリーンインフラ開発の現状と今後の展望

◆パネリスト

能勢 裕司 IHI 事業開発統括本部 官民連携推進部 次長

天野 辰之 国際協力銀行 資源ファイナンス部門長(常務執行役員)

ツピディ・モレモン アフリカ50 最高執行責任者(COO)

ケビン・カリウキ AfDB 副総裁(電力・エネルギー・気候・グリーン成長担当)

■アナウンス

ヤシン・ファル AfDB アフリカ投資フォーラム(AIF) 特別代表

名倉 和子 経済産業省 通商政策局 中東アフリカ課 アフリカ室長

高橋 美佐子 外務省 中東アフリカ局 参事官

■閉会挨拶

河西 修 AfDB アジア代表事務所 所長

■レセプション

◆主催挨拶

岩井 睦雄 経済同友会 筆頭副代表幹事
日本たばこ産業 取締役会長

◆来賓挨拶

牧原 秀樹 衆議院議員/日本・アフリカ連合友好議員連盟(日AU議連) 事務局長

◆乾杯挨拶

エスティファノス・ハイレ・アフエウォルキ

駐日エリトリア大使(駐日アフリカ外交団長)

